

審査講評

審査委員長  
岡本洋典氏



作品全体から受ける印象は、各部門ごとに作品レベルの底上げが感じられ、特に然別湖の作品は幅広く被写体を求め、ついには水中の表現作品も加わりました。人々部門では、町内の多くのイベントや祭りを表現した優れた作品が多数見られました。産業部門では、畑作や酪農、観光など、多様な鹿追町の生業が多角的に表現されています。字数の限りで上位入賞作品のみ選評を記します。

第2回目の大賞に選ばれたのは、自然部門に応募された鎌田祥子氏の作品「森の響き」です。然別湖の固有種であるミヤベイワナを表現した水中写真ですが、水系の川床から水面を見上げるようなアングルにより、魚の視点から豊かな水環境を表現しています。適度なバランスで配されたミヤベイワナと揺れながらも明確にかつ半球状に写し込まれた森林空間の双方を、あたかも図解のイラストを描くように撮り取めた、創造性と臨場感に溢れる見事な作品です。然別湖の自然生態をわかりやすく伝えるという点で、学術記録を超えた写真表現と言えます。

自然部門の最優秀賞に選ばれた水上光広氏の作品「目覚める十勝平野」は、東スブカウシヌプリから見渡す晩秋の十勝平野のランドスケープです。朝日に染まる新雪の日高山脈を背景に、紅葉したカラマツが季節感を演出しています。

人々部門の最優秀賞作品は、草競馬に参加した女兒を表現した佐藤豊氏の「初デビュー」です。タイトルから推察するに、初めての挑戦となる複雑な心理が紅潮した頬と真剣なまなざしに見て取れます。効果的なトリミングも作品の完成度を高めています。

産業部門の最優秀賞には梅村明氏の作品「エンデュランス～深緑の中を」が選ばれました。カラマツ林に伸びるエンデュランスコースに歩を進める人馬を、正面から縦構図で切り取りました。緑のコリドーを潜り抜け一組の人馬が次第に近づいて来る、そんな映画のワンシーンを思い起させる作品です。自然を介したスポーツが鹿追町の魅力であることを紹介するのに一役買いそうです。

産業部門



最優秀賞「エンデュランス～深緑の中を」梅村明氏



奨励賞「農作業」渋川蔵氏



奨励賞「モンスターマシン」廣島宗毅氏



奨励賞「Wberry-Wberry」佐藤豊氏

人々部門



最優秀賞「初デビュー」佐藤豊氏



奨励賞「JUMP!」松本宏樹氏



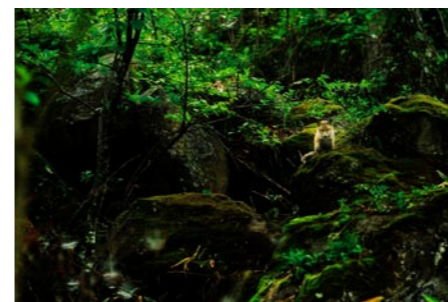
奨励賞「笑顔でパーク」笠井清春氏



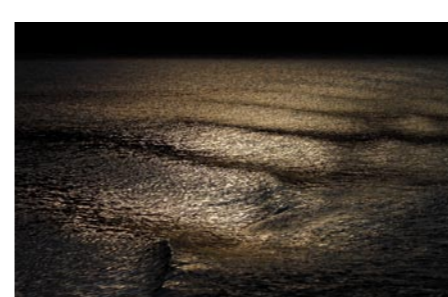
奨励賞「砂煙をあげて」佐々木一郎氏



大賞「森の響き」鎌田祥子氏



奨励賞「Brother Fox」岩崎量示氏



奨励賞「mysterious lake～神秘的湖」仁平寿枝氏

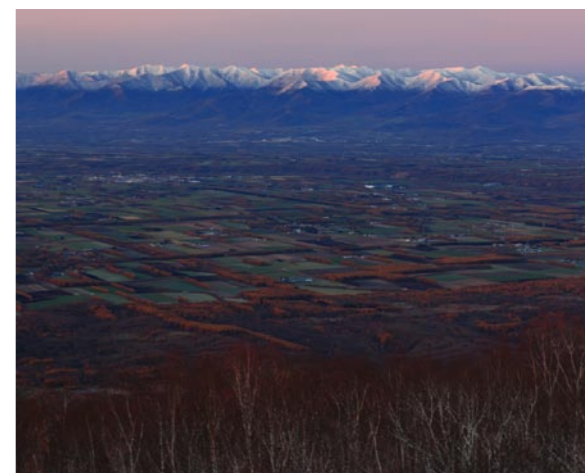


奨励賞「朝霧流れて」田中桂一氏

鹿追町の  
魅力発見!!

フォトコンテスト  
受賞作品決定

自然部門



最優秀賞「目覚める十勝平野」水上光広氏

今年で2回目となった「鹿追町の魅力発見!! フォトコンテスト(町、町観光協会主催)。「人々」「産業」「自然」の3部門に道内外から540点の応募があり、江別市の鎌田祥子さんの作品「森の響き」が大賞に輝きました。入賞作品をはじめとした132点の作品は、3月9日(土)から20日(水)まで鹿追町民ホールで展示されます。美しく迫力ある作品群をこの機会にぜひご覧ください。  
詳しくは、フォトコン事務局(商工観光課 ☎(66)4034)までお問い合わせください。